

〇しれとこ 100 平方メートル運動地の試行的公開について

斜里町環境保全課

斜里町は知床 100 平方メートル運動に対する理解を広め、さらなる運動推進を目的に、運動の理念のもとでの「運動地の適正な公開と保全」を長期目標の一つに掲げてきた。これについて平成 17 年度から試行プログラムを実施、運動地公開に向けた具体的な手法を探ってきた。

今後森林再生の取り組みと調和のとれた運動地公開を実現するために、下記の原則のもと、試行プログラムの結果や中央部地区における利用適正化検討の状況を勘案し、ルール細部と運用方法の検討をすすめる。

◇100 平方メートル運動地公開の原則◇

- * 100 平方メートル運動の歴史と趣旨を理解していること
- * 100 平方メートル運動地の生態系保護や森林再生の方針に反しないこと
- * 運動地内では、安全に十分な配慮すること

■これまで実施した主な試行プログラム

①運動地内自然解説プログラム（17 年度）

知床財団の既存自然解説プログラムで、運動の紹介および運動参加申込パンフを配布、参加者数の調査を実施。

②運動普及啓発プログラム（17・18 年度）

運動地内にコースを設定し、知床財団職員の案内で開拓の歴史や運動の概要について伝えるプログラム。

③運動参加者獲得プログラム（17・18・19 年度）

個人あるいは企業、教育機関等の団体に実際に運動に参加してもらい、知床財団職員の指導の下で運動地内において森林再生作業の体験などを行うプログラム。

④運動地冬期利用試行プログラム（19 年度）

知床自然センター周辺の運動地に以前から設置されているスキーコースを運動地公開の場として位置づけ、個人利用を対象とした公開の手法（ルールや運用方法）の検討を行う。

■今後の運動地公開に向けた取組について

①団体向け運動参加者獲得プログラム（継続）

運動の趣旨を理解し賛同を得た企業や教育機関等団体を対象に運動地での作業体験プログラムの実施。

②運動地内における公開モデルコースの設置と運営（新規）

これまで実施してきた財団職員引率による運動普及啓発プログラムや、スキーコースにおける冬期利用試行プログラムの試行結果を踏まえ、無積雪期にモデルコースを設定し、個人利用を対象とした運動地公開の手法（ルールや運用方法）について試行する。